

Thank youより

'Preciate it

Special Feature
2月号特集

Feb. 2022

今日から変わる

2022年最新版

気分はネイティブ!

表現集

「英会話には自信がないけれど、カッコよく受け答えしてみたい!」もしくは「ある程度の意思疎通はできるけれど、ネイティブのように洗練された言い回しをしてみたい!」と思うなら、まずは短いフレーズを覚えて実際に使ってみましょう。言葉とは、ニュアンスに応じて何通りもの言い回しが可能なもの。せっかくなら、その場の状況に最も適した自然な言い方を選びたいですね。ある程度の英語力がついたら、今度は表現のバリエーションを増やして“Cool English”を目指してみませんか。

この特集では、たったひとことで一目置かれるこなれた英語フレーズをご紹介します。会話の中でのいろいろな問いかけに対し、それぞれ3つの応答例(金・銀・銅)をご用意しました。基本的にはどれも同じ意味ですが、銅→銀→金の順でカッコよさがUP。紹介するのはどれも、ネイティブが今まさに日常で使っている英語表現ばかり。とっさに使うひとことをピックアップしました。ぴったりの機会を見つけたら、さりげなく使ってみましょう。



執筆:編集部 編集:栄谷真菜 イラスト:根津あやぼ

ビジネスで

まずは、オフィス、ビジネスシーンでのとっさのひとつ。自然な言い回しからスタートして、ステップアップしていきましょう。さりげなく使えば、同僚や上司、お客様から一目置かれること間違いなし！

『突然のお願い』 (31)

ヘンリーとビルはグローバルソフト社に勤める同僚。週明けの朝、会社で顔を合わせる2人ですが、月曜日はなんだか気分が乗りません。特にビルは水曜日にプレゼンが控えています。

「おはよう～月曜日って憂鬱だよなー」(ビル)

Morning. Mondays are the worst.

「まったくだよ」(ヘンリー)

I know what you mean.

I know, right?

I feel you.

●いずれも相手への共感や同意を表すカジュアルなフレーズで、「本当にわかる」「まさにそうだね」といったニュアンス。I know, right? の right? は、事実や同意を確認するための付加疑問文のような働きをしていて、ここでは「～だよな」くらいの意味。

——出社してみると、ビルに水曜日どうしても外せない用件が入ってしまった！そこでビルはヘンリーに代打を依頼

「水曜日の会議のプレゼン、代わりにやってくれないか？」(ビル)

Could you give the presentation in my place at the meeting on Wednesday?

「え？」(ヘンリー)

Excuse me?

Huh?

Come again?

●3つの表現はどれも耳を疑うようなことを言われたときに、ふと口について出るひとつ。

——いよいよプレゼンの前日

「プレゼンの準備はできてる？」(ビル)

Are you ready for the presentation?

「もちろんさ」(ヘンリー)

Sure.

No problem.

You bet.

●いずれも「もちろんさ」のニュアンス。You bet. は「任せとけて」といった感じで、威勢の良い返答。

「このプレゼンは絶対に成功させなきゃいけないぞ」(ビル)

We really need this presentation to go well.

「楽勝さ！」(ヘンリー)

Don't worry about it.

No sweat.

I got this.

●No sweat. は「汗もかかない」、転じて「簡単さ」「楽勝さ」の意味になる。I got this. は I've got this. の省略形で、「私に任せて」ということ。

——プレゼンが無事終わって、ヘンリーのところにやってきたビルに

「あー、終わったよー。バッチリ決めてやったよ」(ヘンリー)

Ah, it's over with. It went really well.

「よくやった！」(ビル)

Good job!

You did it!

Way to go!

●いずれも「よくやった!」「やったね!」といったニュアンスで、人の成功をたたえるひとつ。[銀]の主語を変えて I did it! とすると、自分のことを「やったぞ!」と言うときに使われる。Way to go! は「やったじゃないか!」「でかしたぞ!」のニュアンスだが、調子よくことを進めている人に対して「その調子だ!」の意味でも使える。